

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



コロナが収まっていますが、子どもたちはマスクをして対策をしています(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

7月の下旬、私たちに御支援して下さっている方が多く所属しておられる団体のキャンプにて、私共の活動を紹介、また報告する機会としての場が与えられました。

約1時間ほどの報告会となりましたが、インターネットを用いてフィリピン、ザンビア、カンボジアの各孤児院から映像にて報告する機会があたえられました。

私共を含め、各孤児院とも御支援に対する感謝と共に、これからの働きの為にもさらなる御支援を、とお願いするかたちで終わることになりましたが、参加して下さった多くの方々から協賛して下さり、本当にありがたかったです。

相変わらずの世界情勢の不安定化の中、子供達に対する急な助けにも対応できるよう、運営費に関してはもう少し増額と思いつつも、思うようにいかないのが現実、と言ったところでもあります。

しかしながら、皆様の御支援によって子供達は元気に生活できております。このことに関しては、本当に感謝に絶えません。

どうぞこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働き者の為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。コロナの影響で、これまでは10月から新学期だったM校は今年1月から新学期がスタートし、来年度もそのまま1月からになる様です。最年少のSVの幼稚園入園を伸ばしていましたので、来年度からはM校の幼稚園に入園できるように手続きを行っています。これまで幼稚園で学んでいたPTとANは、1月から小学1年生に進級出来るようです。M校の後期試験はまだこれからで、進級に影響する試験になりますので、全員良い結果が出て進級出来るようにと願っています。カンボジアには美味しい果物が沢山ありますが、最近続けてあちこちから頂いたのがリュウガン(クメール語でミヤン)という果物でした。スタッフ達も子ども達もフルーツシェイクにすると美味しいよ!と言うので、以前頂いたミキサーを使って作ってみるととても美味しく出来ました。牛乳を使っても美味しいので、これまでほとんど飲む機会がなかった牛乳を子ども達に提供する良い機会となっています。皆様からのご支援の数々に心から感謝致します。



ミキサーを使ってフルーツシェイクを作りました!
(外皮をむいているのがリュウガン)

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピン子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。7月25日より2022年～2023年の授業の登録が始まっています。暫定的ですが、新学期スタートは8月22日となりました。教育省が対面授業の開始目標を9月12日としたため、進級式や卒業式から僅か10日後のスタートとなりました。教育省の発表では、今年度の授業は、週3日は学校で対面授業、2日は自宅でオンラインとモジュールでの授業となります。まだコロナウイルスやサル痘等の感染の心配があるので、対面授業に戸惑いを感じている生徒や保護者もいます。2022年度はマハヤハイ、スモーキーマウンテン、カリナン、カタルナンペクウエーノから35名の子どもたちの修学支援を予定しています。新学期のスタートに向けて、修学支援生35名分の靴や鞆、学用品等のために6,209.82ドルの必要があります。是非このために皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



小学校の卒業式

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアはようやく寒さも和らぎ、過ごしやすくなりました。8月の下旬には、中等学校建設も開始する事になっており、とても楽しみにしています。先週、7年生(中1)が、10月末に行われる全国統一試験の予備試験を受けてきました。残念な事に、貧しい孤児である事を理由に、他校の生徒達から心ない言葉を浴びたらしく、動揺して、思うような成果をあげる事ができなかったようです。これが、一歩外に出ると待ち受ける現実なのですが、どのような状況にあっても、遅く、誇りを持って歩み続ける力を持てるように、励まし続けていきます。さて、中等学校建設に必要な資金、まだ3千万程必要としています。また、来年30人程度の孤児たちの新規受け入れを予定しておりますが、1日2食の給食、文房具代等含め、ひとりに付き、\$50(約6千5百円)/月の必要があります。どうか引き続き皆様のご支援をよろしくお願い致します。



生徒達(一部)

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。南半球は今、冬です。近年冬でも暖かく、夏は熱波の記録を更新していましたが、コロナで生態系が元に戻ったからか、今年はとても寒くなりました。珍しい1桁台の気温が何度もありました。公立学校ではもう冬休みが終わって授業が始まりました。私が支援している就学支援施設では、日本の体育祭のような行事をやってから、遅れて冬休みに入っています。私がリオデジャネイロに住んでいた時にお世話になった方Sさんに、しばらくぶりで連絡を取ってみました。子供たちを助ける働きに関心を持っておられた方で、最近突然思い出したのです。以前も福祉のような働きをしておりましたが、現在はお年寄りのための働きをされています。もし私たちが子供たちの働きをする時には協力すると言ってくださいました。さらに色々な昔の関わりも復活してきました。さらに協力者を募っていきたいと思います。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



冬休み前に体育祭で楽しむ就学支援施設の子供たち、Sさんとお友達(右下)